

令和3年度 地域学校協働活動実践交流会及び 第2回新・放課後子ども総合プラン指導者研修会報告 (長崎県社会教育関係者等スキルアップ講座)

【日時】令和3年11月15日(月)9:30~12:20

【会場】長崎県庁

これからは地域の様々な団体がつながり協働することで、「学校を核とした地域づくり」を推進する必要がある。そこで、地域学校協働活動実践交流会及び新・放課後子ども総合プラン指導者研修会を合同開催し、参加者が県内で実施されている様々な地域学校協働活動について理解を深めるとともに、参加者同士の交流を図った。学校関係者や社会教育関係者等に地域子ども教室や放課後児童クラブについても知ってもらうことで、地域子ども教室と放課後児童クラブが一体的に取り組む新・放課後子ども総合プランの一層の推進を図ることをねらいとした。

【内容】

◆実践発表

①彦岐市立瀬戸小学校 校長 松山輝彦 氏

(コミュニティ・スクールにおける地域学校協働活動の実践:学校側から)

学校運営協議会を中心とした連携について、地域ボランティアの方々による多様な学校支援ボランティア活動や学校行事・地域行事への参画等、具体的な事例を交えながら発表していただいた。

②ゆうかり児童クラブ 代表 與賀田 千春 氏

(新・放課後子ども総合プラン・放課後児童クラブ)

放課後児童クラブと地域子ども教室との違いや一体的に実施するに至るまでの経緯について発表していただいた。また、多様な体験・交流の場となり、職員と地域住民とのコミュニケーションの場になる等、一体的に実施するメリットについても紹介していただいた。

③佐々小応援団 大浦 春光 氏、山之内 英樹 氏

(コミュニティ・スクールにおける地域学校協働活動の実践:地域側から)

サポートティーチャーによる学習支援や男性保護者からなる「わかあゆおやじの会」における夕焼けウォーキングや通学合宿等、学校と地域が連携・協働した活動について紹介していただいた。

④佐世保市立吉井南小学校区 コーディネーター 大庭 高志氏

(新・放課後子ども総合プラン・地域子ども教室)

放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりに加え、走り方教室や漢字能力検定、田植え体験等多様な体験や交流ができるプログラムを提供し、子どもの学びの充実を図る活動について紹介していただいた。

◆交流会

各ブースに分かれて、参加者がもっと詳しく知りたい活動について意見交流を行った。他の地区や立場の異なる方との情報交換をすることにより思いを共有するとともに、今後の取組のヒントを得ることができる有意義な交流会となった。

参加者からは、「様々な立場の実践が大変参考になった。」「地域とのつながりの大切さを学ぶ機会となった。」「子どもたちのよりよい成長ができる環境づくりをしたいという思いを強くもって学校や地域とつながり協働していきたい。」等の感想が聞かれた。

